防災対策シリーズ連載　『備え』　～ vol.38～

「富士山の大規模噴火」シミュレーション動画を公開

8月26日の「火山防災の日」にちなみ、内閣府は富士山が大規模噴火した場合に火山灰によってどのような影響が出るのかシミュレーションした動画を作成し、公開しました。動画は約10分間で、1707年に起きた「宝永噴火」の規模を想定して作成されていて、降灰の被害状況をCGで表現するなど、具体的にイメージをしやすい動画になっています。

動画では、関西圏への影響については触れていませんが、富士山から東側への降灰による影響範囲のイメージを見ていると、関西圏へ多くの人達が避難してくるのが想像できます。関西圏では噴火による直接的な影響ではなく、避難してくる人々によってインフラの混乱、食料や水の不足問題が発生するのは間違いないように思います。

富士山噴火を“対岸の火事”と思わず、色々と想像をして備えを続けましょう。

〈 防災士　荻野 勝也 〉

【内閣府公開動画】

富士山の大規模噴火と広域降灰の影響（10分7秒）

・内閣府HP版 ［視聴］

・YouTube版 ［視聴］